

重要文化財2400点を生産した 元屋敷窯はどんな窯か？

陶磁器生産量日本一の土岐市では、飛鳥時代の須恵器以来、焼物づくりの伝統が受け継がれてきました。中でも泉町久尻の元屋敷陶器窯跡（元屋敷窯）は、安土桃山時代に黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部などの「美濃桃山陶」を生産した代表的な窯として知られています。発掘により元屋敷窯は16世紀後半～17世紀初頭に操業し、大窯3基と瀬戸・美濃地域で最古の登窯1基が確認されました。創造的な茶陶を生み出し、昭和42年には窯が国史跡に、平成25年には出土品2,431点が重要文化財に指定されています。

当時の絵図では、京都・三条通に「せと物や」と呼ばれる問屋街が描かれ、発掘でも元屋敷窯をはじめとする美濃焼や、他産地の焼物が多数出土しています。問屋が産地や器種ごとに商品を扱い、窯主は商人を通じて消費地の情報を得ていたと考えられます。元屋敷窯の製品は京都・大坂の城館跡などからも見つかり、全国流通していたことがうかがえます。こうした背景から、元屋敷窯の窯主は時代のニーズを捉えるマーケティング能力や複数の窯を運営する資本力を備えた先見性のある人物だったと推測されます。

現在、土岐市では令和11年春の開館を目指し新たな博物館を建設中で、元屋敷窯の重要文化財や美濃焼の歴史、土岐市の歴史文化を紹介する予定です。焼物と土地の歴史が融合する新たなミュージアムに、ぜひご期待ください。

（土岐市美濃陶磁歴史館 中嶋茂）



元屋敷窯（登窯）



三条通出土の元屋敷窯製品

織部の里公園（元屋敷窯）

アクセス（交通機関）

JR「土岐市駅」から徒歩15分

中央自動車道「土岐IC」から10分

東海環状自動車道「土岐南多治見IC」から10分

所在地

岐阜県土岐市泉町久尻1246-1

編集後記

新年号をご覧いただきありがとうございます。新しい年のスタートにふさわしい情報をお届けできるよう、広報委員会皆で編集に取り組みました。皆様の活動を支える一助となれば幸いです。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

広報委員長 井澤秀明

発行所

一般社団法人 多治見法人会

〒507-0831 多治見市新町1丁目18番地

電話 〈0572〉 23 - 5538

FAX 〈0572〉 25 - 0866

URL <https://www.tajimihoujinkai.jp/>

e-mail:info@tajimihoujinkai.jp

編集

一般社団法人 多治見法人会広報委員会

印刷所

丸理印刷株式会社

岐阜県瑞浪市学園台5丁目1番地の1

電話 〈0572〉 68 - 7111

広報委員会

担当副会長	大嶽 利彰(多治見)	委員	井澤 佳憲(瑞浪)
委員長	井澤 秀明(可児)	委員	中山 研吾(瑞浪)
副委員長	伊藤健太郎(瑞浪)	委員	藤井 辰巳(可児)
副委員長	若尾 宗徳(可児)	委員	矢島 幹也(可児)
委員	田中 勝也(多治見)	委員(青年部会)	加藤 秀幸(土岐)
委員	林 浩司(多治見)	委員(青年部会)	足立 優太(土岐)
委員	河地 勝彦(多治見)	委員(女性部会)	三宅 弘花(土岐)
委員	加藤 海蔵(土岐)	委員(女性部会)	藤井 成美(土岐)
委員	熊崎 千尋(土岐)		



法人会の「経営者大型総合保障制度」は

1971年に創設されました。

想いをつないで50年。

これからも会員のみなさまと共に歩み、
企業保障の大きな傘で会員のみなさまを
お守りしてまいります。

DJIDO 大同生命保険株式会社

岐阜支社/
岐阜県岐阜市吉野町6-16(大同生命・廣瀬ビル5F)
TEL 058-262-5141

AIG AIG損害保険株式会社

岐阜支店/
岐阜県岐阜市泉町41(富士火災岐阜ビル3F)
TEL 058-262-4771

今年も法人会の
福利厚生制度の普及を通じ
会員企業の役員・従業員と
そのご家族の皆様にご
安心をお届けしてまいります
本年も何卒よろしくお願い申し上げます
令和八年



謹賀新年



〈引受保険会社〉 **アフラック** 岐阜支社
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町 2-8 濃飛ニッセイビル 13 階

法人会用フリーダイヤル ☎ **0120-876-505**
受付時間/9:00~17:00(土日祝日除く)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

FSC

法人会だよりは、持続可能な世界を目指す国際目標「SDGs」への取り組みとして、適切に管理された FSC® 認証林からの原材料および再生資源から作られています。